

48回サイエンス・カフェ

2011. 1.21 金

18:30—20:30

ヒトと

チンパンジーのあいだ

—ヒトはどのように特別な類人猿か—

ゲスト **長谷川 寿一**さん

東京大学総合文化研究科教授

コーディネーター **室伏きみ子**さん

お茶の水女子大学大学院教授

ヒトは遺伝学的近縁性からみれば、チンパンジーと最も近く、チンパンジーからみても最近縁種は、ゴリラではなくヒトである。ヒト・チンパンジーグループは、他の類人猿にはみられない特徴として、雄同士の強い絆や集団狩猟を共有している。

しかし他方、ヒトは、チンパンジーや他の類人猿とは明白に異なる認知能力を発達させた。とくに社会認知に関連した、模倣、共感、教示、他者の内面理解(マインドリーディング)、言語コミュニケーションといった能力は、ヒトという種に特異的な能力であり、これらの認知能力のおかげで、ヒトは文化を切り開き、文明を築き上げた。

では、そもそもなぜ、ヒトはこのような特殊な能力を進化させたのだろうか。この問いについて、参加者の皆さんと一緒に考えてみよう。

会場: **サロン・ド・FUZAMBO Folio**

千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1

Tel: 03-3291-2578

E-mail: p-m@fuzambo-intl.com

参加費1名650円(1ドリンク、デザート付)

主催: **富山房インターナショナル・日本学術会議**